

おはなしき よせつ

なまえ

◎よんで こたえましょう。

「^①どきどきするね。」

ぼくのまえで まっていた たいちくんが、はなしかけてきた。

「^②うん。」

たいちくんは、にこにこしていたが、ぼくはほんとうに どきどきしていた。

「つぎは、たいちくんのぼんです。」

と、せんせいがあった。

たいちくんは、おもいきりはして ふみきりばんをつよくけた。

「どん。」

とおどがして、たいちくんは とびばこを とんだ。

「^③やったね。おめでどう。」

せんせいは、そういって ぼくのほうを みた。

「さあ、がんばってみようか。」

ぼくの しんぞうの おどが はっきりと きこえた。

てを ぐつとにぎると、てのひらから あせが でてきた。

ぼくは つばをのみこむと、ぎゅっと 目をつぶった。^④ 目をあけてとびば

こをみた。「いくぞ。」と こころのなかでつぶやいて とびばこへ むかつてはした。

ふみきりばんを ふみきって、とびばこを うしろに おしていくように てをおもいきり うごかした。

マットの 上に のったとき、ころびそうになった。^⑤ とびこえることができた。



① ㊶、㊷、㊸のことばは、ぼく、せんせい、たいちくんのうち、だれがいったことばですか。

「㊶どきどきするね。」

()

「㊷うん。」

()

「㊸やったね。おめでとう。」

()

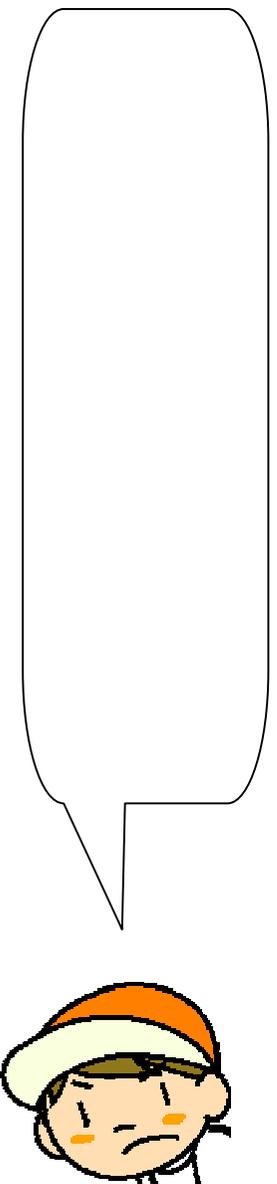
② たいちくんは、どのようにとびばこをとびましたか。たいちくんのようにすにあって
ているものに○をつけましょう。

○ふみきりばんをふみきって、とびばこをおすように てをうごかした。()

○おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。()

○とんだときに、「どん。」とおどがした。()

③ ぼくは、とびばこを とぶまえに、こころの中で どんなことを かんがえています
か。ふきだしにかきみましょう。

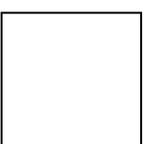


④ ㊹、㊺には、どんな ことばが あてはまりますか。ただし くみあわせの

ものを えらびましょう。

1 ㊹ そして ㊺ さらに 2 ㊹ しかし ㊺ そこで

3 ㊹ それから ㊺ でも 4 ㊹ また ㊺ ところが



おはなしき よもう(こたえの れい)

なまえ

◎よんで こたえましょう。

「[㊦]どきどきするね。」

ぼくのまえで まっていた たいちくんが、はなしかけてきた。

「[㊧]うん。」

たいちくんは、にっこりしていたが、ぼくはほんとうに どきどきしていた。

「つぎは、たいちくんのばんです。」

と、せんせいが いった。

たいちくんは、おもいきりはして ふみきりばんをつよくけた。

「どん。」

とおどがして、たいちくんは とびばこを とんだ。

「[㊨]やったね。おめでどう。」

せんせいは、そういって ぼくのほうを みた。

「さあ、がんばってみようか。」

ぼくの しんぞうの おどが はっきりと きこえた。

てを ぐつとにぎると、てのひらから あせが でてきた。

ぼくは つばをのみこむと、ぎゅっと 目をつぶった。[㊩]、目をあけてとびば

こをみた。「いくぞ。」と、こころのなかでつぶやいて とびばこへ むかつてはした。

ふみきりばんを ふみきって、とびばこを うしろに おしていくように てをおもいきり うごかした。

マットの 上に のったとき、ころびそうになった。[㊪]、とびこえることができた。



① ㉞、㉟、㊱のことばは、ぼく、せんせい、たいちくんのうち、だれがいったことばですか。

「㉞どきどきするね。」

(たいちくん)

「㉟うん。」

(ぼく)

「㊱やったね。おめでとう。」

(せんせい)

② たいちくんは、どのようにとびばこをとびましたか。たいちくんのようすにあっているものに○をつけましょう。

○ふみきりばんをふみきって、とびばこをおすように てをうごかした。 ()

○おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。 ()

○とんだときに、「どん。」 おとがした。 ()

③ ぼくは、とびばこを とぶまえに、こころの中で どんなことを かんがえていましたか。ふきだしにかきましましょう。

(こたえの れい)
どきどきするな。とべるかな。
・たいちくんみたいに、ぼくもとびたいな。がんばるぞ。
・いよいよぼくのばんだ、いくぞ。
※どきどきするきもちや、がんばってとぼうとするきもちがかかれています。よい。



④ ㉞、㉟には、どんな ことばが あてはまりますか。ただし くみあわせの

ものを えらびましょう。

1 ㉞ そして ㉟ さらに 2 ㉞ しかし ㉟ そこで

3 ㉞ それから ㉟ でも 4 ㉞ また ㉟ ところが

しを よもつ

なまえ

◎つぎの しを よんで、こたえましょう。

虫のこえ

あれ まつむしが ないている

ちんちろ ちんちろ ちんちろりん

あれ ずむしも なきだした

りんりんりんりん りいんりん

あきの よながを なきとおす

ああ おもしろい むしのこえ

きりきりきりきり こおろぎや

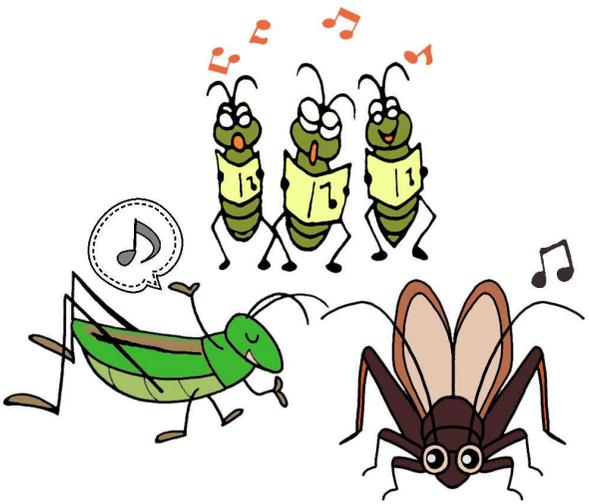
がちゃがちゃがちゃがちゃ くつわむし

あとから うまおい おいついて

ちよんちよんちよんちよん すいっちよん

あきの よながを なきとおす

ああ おもしろい むしのこえ



①「あれ まつむしが ないている」とおなじリズムの文を 二つ かきましよう。

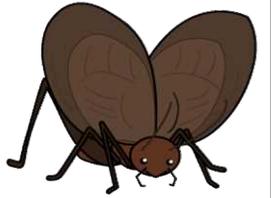
()

()

②この しには、ぜんぶで なんびきの虫が 出てきますか。

()

③ つぎの虫となごぎごえを せんで つなぎましょう。



すずむし

•

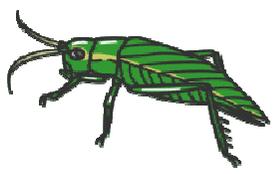
ちよんちよんちよんちよん
すいっちよん



うまおい

•

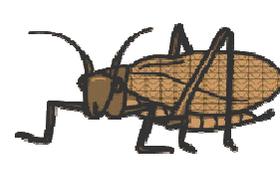
りんりんりんりん
りいんりん



まつむし

•

がちやがちやがちやがちや



くつわむし

•

ちんちろ ちんちろ
ちんちろりん

④ このしは どんなかんじでよんだら よいですか。よいものに○をつけましょう。

㊦ かなしそうに ()

㊥ たのしそうに ()

㊤ さびしそうに ()

⑤ ことばのリズムに きをつけて、三かい おんどく しましょう。

(よんだら、○をつけましょう。)

一かい目

二かい目

三かい目

しを よもつ (二たえ)

なまえ

◎つぎの しを よんで、こたえましょう。

虫のこえ

あれ まつむしが ないている

ちんちろ ちんちろ ちんちろりん

あれ すすむしも なきだした

りんりんりんりん りいんりん

あきの よながを なきとおす

ああ おもしろい むしのこえ

きりきりきりきり こおろぎや

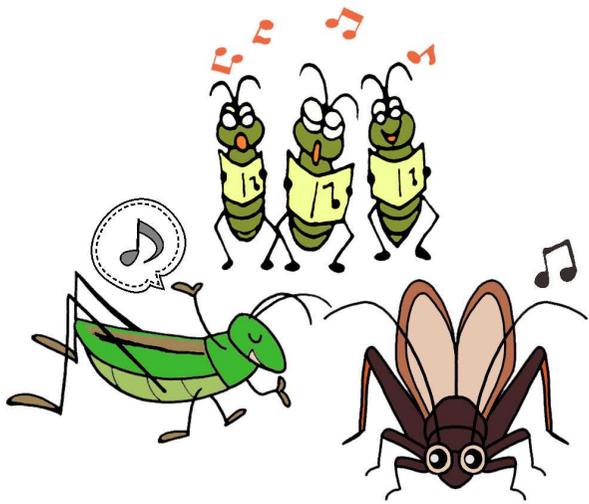
がちゃがちゃがちゃがちゃ くつわむし

あとから うまおい おいついて

ちよんちよんちよんちよん すいっちよん

あきの よながを なきとおす

ああ おもしろい むしのこえ



①「あれ まつむしが ないている」とおなじリズムの文を 二つ かきましよう。

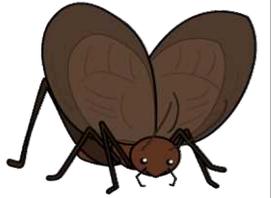
(あれ すすむしも なきだした)

(ああ おもしろい むしのこえ)

②この しには、ぜんぶでなんびきの虫が 出てきますか。

(五ひき)

③つぎの虫となきごえを せんで つなぎましょう。



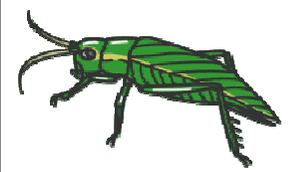
すずむし

ちよんちよんちよんちよん
すいっちよん



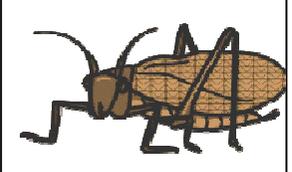
うまおい

りんりんりんりん
りいんりん



まつむし

がちやがちやがちやがちや



くつわむし

ちんちろ ちんちろ
ちんちろりん

④このしは どんなかんじでよんだら よいですか。よいものに○をつけましょう。

㊦ かなしそうに () ()

㊥ たのしそうに () ()

㊤ さびしそうに () ()

⑤ことばの リズムに きをつけて、三かい おんどく しましょう。

(よんだら、○をつけましょう。)

一かい目

二かい目

三かい目

ぶんを よんで かんがえよう

なまえ

◎つぎの ぶんを よんで、こたえましょう。

かおるさんは、おかあさんに おべんとうを つくってもらいました。

おかあさんは、どのように おべんとうを つくったのでしょうか。

へ おべんとうの つくりかた

はじめに、ボウルのなかに たまごを わって さとうを 入れて よくまぜます。

それから、フライパンでやいて たまごやきをつくります。

つぎに、ウインナーに ほうちょうで きりこみを 入れてから おなべで ゆでて、

たこさんウインナーをつくります。

それから、ほうれんそうを フライパンでいためて、しおを 入れて あじをつけま
す。

、たきたての ごはんをにぎって、のりでまいて

おにぎりを ニこ つくりまます。おにぎりの なかみは、

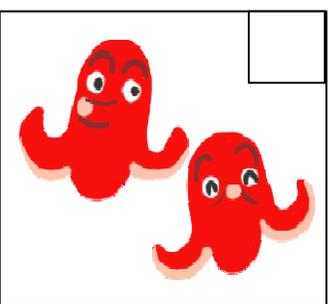
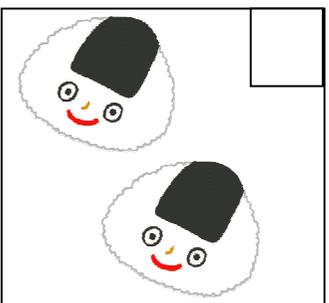
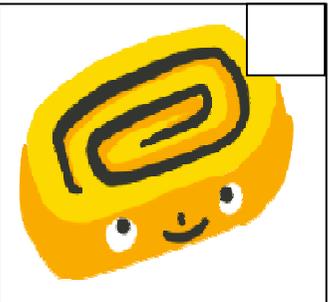
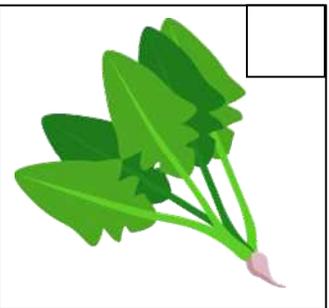
かおるさんの だいすきな さけと うめぼしです。

できあがった おにぎりとおかずを おべんとうばこの

なかに ぜんぶいれて、かんせいです。



① おかあさんが つくった じゅんばんに ばんごうを かきましよう。



②おべんとうをつくるときに つかった どうぐの くみあわせで ただしものは
どれでしょうか。○をつけましょう。

ア ほうちょう フライがえし おさら ()

イ フライパン ボウル ほうちょう ()

ウ ボウル まないた おなべ ()

③おかあさんは、どうして おにぎりの なかみを さけと うめぼしに したのです
か。あてはまることを かんがえて、ハもじで かきましょう。

さけと うめぼしは、

--	--	--	--	--	--	--	--

だから。

④

--

 にはいる ことばとして よいものに、○をつけましょう。

ア また イ かし ウ それでも エ さいごに

⑤ かおるさんは、おべんとうをもって、えんそくに いきました。そして、いえに
かえってから おかあさんに てがみを かきました。かおるさんに なったつもり
で、おかあさんに てがみを かいてみましょう。

おかあさんへ

ぶんを よんで かんがえよう (こたえのれい)

なまえ

◎つぎの ぶんを よんで、こたえましょう。

かおるさんは、おかあさんに おべんとうを つくってもらいました。

おかあさんは、どのように おべんとうを つくったのでしょうか。

へ おべんとうの つくりかた

はじめに、ボウルのなかに たまごを わって さとうを 入れて よくまぜます。

それから、フライパンでやいて たまごやきをつくります。

つぎに、ウインナーに ほうちょうで きりこみを 入れてから おなべで ゆでて、

たこさんウインナーをつくります。

それから、ほうれんそうを フライパンでいためて、しおを 入れて あじをつけま
す。

、たきたての ごはんをにぎって、のりでまいて

おにぎりを ニーこ つくりまます。おにぎりの なかみは、

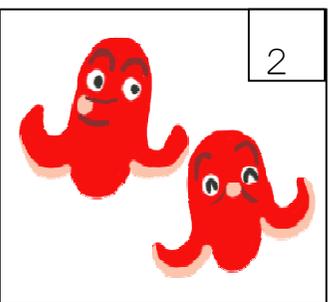
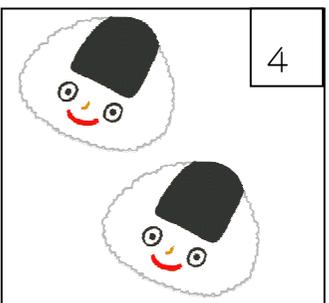
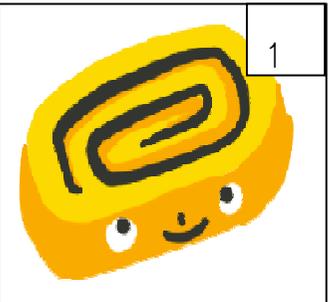
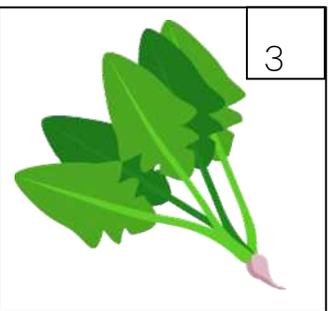
かおるさんの だいすきな さけと うめぼしです。

できあがった おにぎりとおかずを おべんとうはこの

なかに ぜんぶいれて、かんせいです。



① おかあさんが つくった じゅんばんに ばんごうを かきましよう。



② おべんとうをつくるときに つかった どうぐの くみあわせで ただしものは どれでしょうか。○をつけましょう。

ア ほうちょう フライがえし おさら ()

① フライパン ボウル ほうちょう ()

ウ ボウル まないた おなべ ()

③ おかあさんは、どうして おにぎりの なかみを さけと うめぼしに したのですか。あてはまることを かんがえて、ハもじで かきましよう。

さけと うめぼしは、

か	お	る	さ	ん	が	す	き
---	---	---	---	---	---	---	---

だから。

(解答例「かおるがだいすき・」かおるのこうぶつ」でもよい。)

④ にはいる ことばとして よいものに、○をつけましょう。

ア また イ しかし ウ それでも (エ) さいごに

⑤ かおるさんは、おべんとうをもって、えんそくに いきました。そして、いえに

かえってから おかあさんに てがみを かきました。 かおるさんに なったつもりで、おかあさんに てがみを かいてみましょう。

おかあさんへ

かいどうれい

(解答例) おかあさん、おべんとうをつくってくれて、ありがとう。とても おいしかったですよ。たまごやきは あまくて、ほつたがおちるくらいでした。

かんしゃ

きもち

べんとう

おい

ぐたいてき

か

せいどう

(おかあさんへの感謝の気持ちや、お弁当が美味しかったことなどが具体的に書かれていれば、正答。)